



日本建築家協会近畿支部 京都地域会 第33回通常総会 記念講演会

# 近現代の建築から京都を考える

建築における「京都市なもの」とは、或いは京都の建築は一体何をか表象してきたのか。

コロナ禍を機会に敢えて現在にいたる過去を振り返りたい。

建築史家の倉方俊輔氏を講師に迎え、昭和から平成そして令和における京都の建築を読み返しつつ京都について考えてみたい。



日時： 4月24日(土) 13:00～15:30 (CPD 3単位(申請中))

会場： zoom でのオンライン講演会

定員： 80名

参加費： 無料

参加方法： 4月23日までに zoom の URL より参加登録をお願い致します。CPDが必要な方は CPD の URL より申込み下さい。

zoom [https://zoom.us/meeting/register/tJckduitzqzorG9eFejXCEslcvTpVPmjUXgs5](https://zoom.us/join/join?url=https://zoom.us/meeting/register/tJckduitzqzorG9eFejXCEslcvTpVPmjUXgs5)

CPD <https://forms.gle/5QHVM4kNJMwmP5WZ7>



zoom

CPD

※CPD が必要な方は zoom への参加登録と CPD への申込みを必ず両方行ってください。

※ システムの都合上、参加人数に制限があります。ご参加希望の方はお早目のご登録をお願いいたします。

※ 参加人数が上限に達した場合、ご参加頂けませんのでご了承ください。



講師： 倉方 俊輔

建築史家。1971年東京都生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了。博士(工学)。

2011年より大阪市立大学准教授。

近現代の建築の研究・批評・紹介の他、日本最大の建築公開イベント「イケフェス大阪」実行委員会委員、Ginza Sony Park Project メンバーなどを務める。日本建築学会賞(業績)、日本建築学会教育賞(教育貢献)ほか受賞。著書に『はじめての建築 01 大阪市中央公会堂』(生きた建築ミュージアム大阪実行委員会)、『みんなの建築コンベ論—新国立競技場問題をこえて』(NTT出版)、『神戸・大阪・京都 レトロ建築さんぽ』(エクスナレッジ)、『伊東忠太建築資料集』(ゆまに書房)ほか。

主催：公益財団法人 日本建築家協会近畿支部京都地域会

